

第1号様式（第6条）関係

伊勢原市協働事業提案書

平成30年5月30日

伊勢原市長 様

住 所 XXXXXXXXXX
団体名 第8期いせはら観光ガイド養成
講座実行委員会
代表者氏名 実行委員長 三上利栄 XXXXXXXXXX

伊勢原市市民協働事業提案制度実施要綱第6条の規定により、次の通り提案します。

提案区分	☒ 市民提案型協働事業 ☐ 行政提案型協働事業
協働事業名	第8期いせはら観光ガイド養成事業講座
添付資料	(1) ○団体概要（第2号様式） (2) ○協働事業実施計画（第3号様式） (3) ○協働事業収支予算書（第4号様式） (4) 規則、定款、規約 ○会則その他これに準ずるもの 写し (5) ○会員、構成員の名簿写し (6) ○前年度の活動報告書及び収支決算書の写し

第2号様式（第6条）関係

団 体 概 要

平成30年5月30日

団 体 名	第8期いせはら観光ガイド養成講座実行委員会	
所 在 地		
代 表 者	実行委員長 三上利栄	
設立年月日	平成23年7月	
会員状況	会員28人（うち伊勢原市民27人）	
業務内容	① 大山が神奈川の観光の第4の核となり、また、大山詣りが日本遺産となったことから伊勢原の観光が俄然脚光を浴びてきている。この点でおもてなしのガイドで応えることは重要である、その体制をとりたい。 ② この条件の中、案内ガイド必要性は増えてくる、特に大山に来る外人観光客は国の数も人の数も増加の一途である、この点で外国語＝英語ガイドは重要であり必要である。 ③ このために「外国語講座」と「一般観光ガイド&サポート講座」の2つを開設して要望にこたえたい。具体的な計画は別紙内容による。	
主な公益活動の実績	① 大山インフォメーションセンターで外人案内のサポートをこの3年間実施してきている。（年間だと46日間。） ② 市主催の大山サミットに参加、観光協会のヒガンバナコース案内、市主催の太田道灌祭り、太田道灌の集いなどに参加している。 ③ 過去7年間観光ガイド養成講座を実施してきている。	
連絡担当者	氏名	三上利栄
	所属	第8期いせはら観光ガイド講座実行委員会
	電話	電話 携帯
	FAX	
	e-メール	なし

第 3 号様式(第 6 条)関係

協働事業実施計画書

平成 30 年 5 月 30 日

協働事業名	第 8 期いせはら観光ガイド養成講座
事業の目的	伊勢原の恵まれた自然、歴史、史蹟、文化を伝承、顕彰、案内し、伊勢原の観光振興に寄与し観光客を増やすために観光ガイドの増員、レベルを向上させるために講座を開設します。「観光ガイド外国語講座と一般観光ガイド&サポート講座」の 2 つを実施します。目標は外国語講座 15 人、一般観光ガイド&サポート講座 20 人を養成し修了させる目標で取り組みます。
事業内容	① 講座計画書は別紙の通りに予定します。 ② 一般観光ガイド講座は大山地区、日向地区、三の宮地区、太田道灌コース、の 4 つのコースを重点として行います。テキストは観ボラマップや観光協会の観光パンフなど使用します。 ③外国語は、英会話の内容講座（テキストにより、自己紹介、案内挨拶、大山インフォメーションセンターの案内受け入れをできる水準をめざす。）を中心に行います。2 年目以降の受講生は認定証交付、3 年以降の受講生には専攻過程として実地講座の講師など参加させて向上をめざします。
スケジュール	平成 30 年 5 月 1 日より平成 31 年 3 月 31 日までの期間
協働の効果	市民協働事業に対する市民は、事業に対して信頼と安心感を置いています。低廉な講座料で、経験豊かな講師陣を確保でき、地元観光ガイドの地元に着した講座は市民の期待にこたえられるものです。大山バス停終点の大山インフォメーションセンターなどで実習も計画し、創意と工夫をした講座としレベルアップを図ります。
役割分担	（市民協働団体の役割） ① 「2 つの講座」の計画と執行・運営に責任を持って宣伝、組織、財政、講師配置などに当たり成功に貢献します。とくに、新受講生の応募に最大の力を発揮します。このために、広報、新聞、タウンニュースなど活用して努力します。推進ニュースの発行をして受講生に周知と交流に努めます。 （市の役割） ① 講座の受講料の応分の助成を行う。②市広報への講座の内容の掲載。③講座会場の確保。④講師陣の相談と推薦。

第3号様式（第6条）関係

協働事業予算書

平成30年5月30日

協働事業名	第8期いせはら観光ガイド養成講座
団体名	第8期いせはら観光ガイド養成講座実行委員会

収入の部

区 分	予算額（円）	摘 要
受講料	126,000 円	3 千円×40 人、単科生 20 人分見込む
活動援助金	60,000 円	観ボラ 5 万円、寄付金 1 万円
市の援助金	160,000 円	市の援助金
雑収入	10,000 円	資料代、本代等
合計額	356,000 円	

支出の部

区 分	予算額（円）	摘 要
講師料費	160,000 円	外国語講座用 9 万円、一般観光用 7 万円。
会場費	20,000 円	会場費。
交通費	26,000 円	交通費、車代など。
通信費	25,000 円	切手代、はがき代、郵送費代。
消耗品費	100,000 円	パソコンインク代、紙代、FAX 代など。
その他の事務費	25,000 円	資料代、参考書代、賞状代など。
合計額	356,000 円	

第 8 期 いせはら観光ガイド養成講座実行委員会運営要綱

平成 30 年 5 月 30 日

名 称 第 8 期 いせはら観光ガイド養成講座実行委員会と称します。

基 本 伊勢原市市民協働事業として実施します。自然と歴史、史跡と文化の香る伊勢原の観光振興のために観光案内人材を要請する講座です。その内容は、「観光一般ガイド&サポート養成講座」と「外国語～英語講座」の 2 講座とします。主宰はいせはら観光ボランティアガイド&ウオーク協会、講座運営・実行は第 8 期 いせはら観光ガイド養成講座実行委員会が運営担当します。

2 つの講座の内容 ①「観光一般ガイド&サポート講座」は伊勢原市内ある主な見どころ（5 か所）を道案内できる水準をめざします。理論と実践をあわせて 10 講座とし、出席時間が不足した人には補習講座も設定します。「ガイドとともに楽しくウオークやハイキングができるようにガイドと参加者をサポートする講座」とします。

②「英語による外国語講座」は 12 講座とし、通訳者と経験者が受講生の水準にあった方法で丁寧に講座します。補講も計画し修了を援助します。（テキストと観光協会冊子使用）

③講座計画は別紙のようになります。（会場などの点で変更はあり得ます）

修了証の交付 講座の 70%出席者には修了証を 1 年ごとに実行委員会より、2 年以上の受講修了者には観ボラより「認定証」を交付します。3 年以上の受講生は専攻課程修了として証を交付します。

講座実施期間 平成 30 年 7 月 19 日より来年 3 月 31 日までの期間内で実施します。

講 師 観光学に造詣の深い大学教授、通訳、市職員、郷土史家、経験者等多彩に適宜に配置して講座を推進します。

受 講 料 「1 講座」3 千円とします。（「2 講座」は 6 千円）1 日だけの出席受講料は 1 回 300 円とします。但し、単科生を 5 回以上受講した時には相談のうえ受講生に切り替えるサービスを実施します。

体 制 実行委員長 三上利栄 他は役員名簿の別紙通り 28 人体制です。

問い合わせ・連絡先 第 8 期 いせはら観光ガイド養成講座実行委員会 三上利栄
（いせはら観光ボランティアガイド&ウオーク協会）

〒 [REDACTED]

電話&FAX [REDACTED] 携帯番号 [REDACTED]

第8期いせはら観光ガイド養成講座実行委員会実行委員メンバー

平成30年5月30日

NO	氏 名	住 所	役 職
1	三上 利栄	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	実行委員長
2	山口 靖之	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	副々
3	及川 勢子	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	副々
4	宮腰 義明	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	副々
5	加藤 夏夫	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	副々
6	大矢千鶴子	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	副々
7	今井 滋	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	副々
8	森内 文之	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	副々
9	鳥海 増雄	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	副々
10	鳥海 政男	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	幹事
11	清水 光子	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
12	山本喜美子	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
13	西部 周子	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
14	川中 彰	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
15	薦本 明	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
16	若林ミヤ子	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
17	大塚 勝	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
18	渡部 桂子	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
19	喜多 実	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
20	那須 憲三	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
21	加藤 利子	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
22	吉川 福司	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
23	山本 陽	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
24	小川千鶴子	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
25	上野 幸男	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
26	佐藤 克彦	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
27	佐藤 茂行	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々
28	菅原 信夫	〒241-0292 神奈川県相模原市中央区大井町2-1-1	々

一般観光ガイド&サポート講座 平成30年度第8期いせはら観光ガイド養成講座

伊勢原の観光見どころ4大スポットを学ぶ計画(案)

平成30年5月30日

回数	講座名・会場	講座時期	見どころ聞きどころ	講師名	案内役
1. 補講	オープン講座・道 灌コースウオーク	7月19日(木)9時伊勢 原駅北口集合	道灌コースウオーク	観ボラ	山口、 森内他
2. 補講	オープン講座 大ホール	7月29日(日)13時よ り	第18回道灌の集い サミットは11時より	見学	同じ
3.	開講式中公会議室 B(予定)	8月25日(土)13時半 より4時迄	・入講式・記念講演 ・「観ボラ史」に学ぶ	観ボラ	同じ
4.	日向薬師・彼岸花 コース・現地	9月30日(日)9時伊勢原 北口交番前	・彼岸花コース・頼朝コ ース・日向薬師	観ボラ	同じ
5. 6. 補講	第51回太田道灌 祭り参加	10月13・14日(土・日) 10時より19時迄	・太田道灌祭りに見学実 地活動	実地と見学	同じ
7.	歴史講座 中公3階会B	10月21日(日)13時半 より(予定)	・太田道灌を学ぶ 尾崎孝先生	尾崎孝先生	同じ
8.	三の宮コース 現地集合	11月4日(日)9時北口 交番前	・善波太郎コース	今井滋講 師、	おなじ
9.	大山紅葉とかげゆ 絵巻コース	11月24日(土)9時北口 交番前(予定)	・大山紅葉と歴史講座 (大山絵巻)と豆腐料理	かげゆさん に聞く	同じ
10.	大山門前コース・ 中村屋2階	12月9日(日)9時駅交 番前(予定)	・大山観光講座 ・昼食は中村屋	宮崎講師座 学	同じ
11 補講	観ボラ忘年会で懇 親	12月12日(水)午後3 時より	・忘年会	観ボラ	同じ
12 補講	第16回いきいき シニア祭り	1月12日(土) 13時より中公展示ホール	・見学	見学	同じ
13.	理論講座。シテイ プラザ1F会議室	1月30日(水)13時より	・「知は生きる力」を学 ぶ	逢坂講師	おなじ
14.	修了式・記念講演	2月13日(水)13時よ り社協1階会議室	・記念式典・講演 ・観ボラと新観光ガイド マップ	講演佐藤大 住さん	同じ

*まだ講師などの未調整部分があります。

*講座14回、5回が本番、4回補講。(補講も修了の計算には入れる)修了証は8回以上の出席で。

*2回以上の修了生には認定証を交付します。3回目以上の受講生には講師などの参加も。

外国語講座 平成 30 年度いせはら観光ガイド計画 (案)

観光ガイドの基礎知識「話す・聞く・慣れる英会話」講座 30 年 5 月 30 日

NO	実施日場所	講座内容	講師名	ポイント	担当者
1 補講	7 月 19 日 (木) 9 時 伊勢原駅北口集合	太田道灌コースウ オーク	観ボラ役員	道灌コースウ オーク	三上、川中 山口、森内他
2、 補講	7 月 29 日 (日) 午後 1 時よ り、文化会館大ホール	第 19 回道灌の集 いの観賞	実行委員	集いの観賞	々
3、	8 月 25 日 (土) 午後 1 時開 場、1 時半開講 中公会議室 B (予定)	入講式	石井久恵講 師と梶田講 師	入講式と講師 が語る「私と外 国語」	川中、渡部、 鳥海、矢野 他
4、 補講	9 月 8 日 (土) 13 時半より中 公会議 B (予定)	観光と地域振興	東海大学 観光学部	観光振興策を 学ぶ	市大と共催 三上、川中、
5	9 月 22 日 (土) 9 時伊勢原駅 北口集合、&9 時 35 分、日 向薬師バス停集合	① 英会話・自己 紹、観光案内など テキスト	講師石井久 恵講師	現地でひがん 花コースを歩 く。	三上、川中、 渡部、鳥海、 平野 (大木)、
5	10 月 10 日 (水) 13 時 中公会議室 B (予定)	② 英会話・観光 案内、実践を聞く	講師梶田紀 子、KSGG	ガイドの挨拶 など	同メンバー
6 補講	10 月 13 日 (土) &14 日 (日) 第 51 回太田道灌祭り参加	第 51 回道灌祭り	見学・案内、 署名行動他	見学と行動参 加	同メンバー
7	10 月 27 日 (土) 10 時より 社協 1 階会議室 (予定)	市内外国語団体と の体験交流	講師石井久 恵講師	体験を聞く学 ぶ	同メンバー
8 実習 期間	11 月 18 日 (日) 10 時より バス停大山ケーブル終点に 集合	大山インフォメー ション実践見学、2 人づつ体験	実地体験、2 交代、午前午 後	実践講座	同メンバー
	11 月 19 日 (月) 9 時 50 分 より、11 月 30 日までの期間 大山インフォメーションで。	希望者	観ボラ担当	実践体験	、
9	12 月 12 日 (水) 13 時より 社協 1 階会議室	英会話・テキスト など	梶田紀子講 師	外国語団体の 報告も計画	同メンバー
10	12 月 22 日 (土) 13 時	③ 英会話・校外 で外人案内など。	石井久恵講 師	校外・駅前での 講座	同じ
11	1 月 8 日 (火) 9 時、北口又 は 9 時 35 分日向バス終点で	④ 日向薬師の祭 典見学	石井久恵講 師	ウオークと祭 典見学	同じ
12 補講	1 月 26 日 (土) 13 時半 中公会議室 B (予定)	「知は力」理論講 座	東海大教授		同じ

13 補講	1月27日(日) 13時 社協1階会議室(予定)	Ksgg と交流	KSGG	ガイドの実際 を学ぶ	同じ
14	2月13日(水) 13時より 社協1階会議室	修了式・記念講演 東海大観光学部	東海大講師	ガイドと生き がいについて	同じ

*講師との日程など未調整部分があります。

*3年目以上の受講生は専攻科とし、講師などにも参加する。*2年目は「修了証」を交付する。

*自己紹介でき、案内の概要できるレベルの会話ができるように現地での実践講座などを行う。

*大山インフォメーションは2年目以上の受講生は2人2交代で実地実習をおこなう。

「第8期いせはら観光ガイド養成講座」実施に関する協働事業協定書

伊勢原市（以下「市」といいます。）と第8期いせはら観光ガイド養成講座実行委員会（以下「実行委員会」といいます。）は、「第8期いせはら観光ガイド養成講座」（以下「事業」といいます。）の実施に関し、次のとおり協働事業の協定を締結します。

1 事業の目的

伊勢原市や市内各地域の観光振興に協力するため、観光ガイドを養成します。

ガイドを養成するにあたり、伊勢原に豊富に存在する自然・史跡・文化財・観光地を実地講座や座学をとおして学びます。

2 協定の目的

本協定は、事業の実施にあたり、市と実行委員会との間の関係や役割分担、相互協力の内容などを定めるものです。

3 協働に関する原則

市と実行委員会とは、協働の精神に基づいて、お互いに次の原則を遵守します。

(1) お互いが対等かつ協力的な関係を保つよう心がけます。

(2) お互いの立場を理解・尊重し、自由に意見を交換できる関係をつくります。

(3) お互いの活動を理解し、その主体性・自主性を尊重します。

(4) 個人情報の保護に考慮しながら、協働の過程や結果等の情報を公開し、市民の理解を得るように努めます。

(5) 多様な市民の意見を集め、中立性・公平性を担保します。

(6) 一定の時期に事業の効果を検証・評価し、改善を行うとともに、事業の継続の可否についても検討します。

4 役割と責務

(1) 市の役割と責務

ア 情報提供

市は、実行委員会に対し事業の実施に必要な情報の収集、提供及び公開をします。

イ 分担業務

i 事業開催のための会場の確保に協力します。

ii 市広報や市ホームページにより、事業の周知を行います。

iii 講師料及びその他事業の実施に必要な費用の一部について負担します。

iv 本事業開催にあたって、助言やアドバイスを行います。

ウ 経費の負担

市は、別紙に定める経費を予算の範囲内で負担します。

エ 報告書に関すること。

市は、実行委員会が作成した報告書等の内容を真摯に検討し、市政に活かすよう努めます。

(2) 実行委員会の役割と責務

ア 情報提供

実行委員会は、市に対し事業の実施に必要な情報の収集、提供及び公開をします。

イ 分担業務

- i 事業の目的を達成するため、事業を総括します。
- ii 事業の企画・運営を行います。
- iii 事業の広報・宣伝を行います。
- iv 事業へ参加する受講生の募集等、連絡・調整を行います。
- v その他、事業開催に関わる全てを行います。

ウ 経費の負担

実行委員会は、別紙に定める市負担金相当額を差し引いた経費を、受講料等で賄います。

エ 情報公開

実行委員会は、事業実施の経過・内容・成果などについて、より多くの市民の目に触れるように広く一般に情報公開や情報提供をします。

オ 個人情報の保護

実行委員会は、事業を実施する上で知り得た情報のうち、プライバシーに関するものなどについては、市の個人情報保護条例に基づいて個人情報の保護を行います。

5 相互の連絡調整

市と実行委員会は、相互の連絡調整を円滑に行うため、適宜、連絡調整会議等を開催して協議します。

6 協定の有効期限

本協定の有効期限は、平成31年3月31日までとします。

7 報告書の提出

実行委員会は、事業終了後60日以内に市に対し事業完了報告書を提出するものとする。

8 事業の評価等

市と実行委員会は、事業の実施後に事業の評価を行います。

9 その他

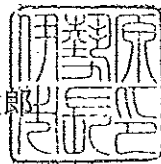
本協定に定めのない事項で、事業を実施する上で必要と認められるものについては、市と実行委員会が協議して定めるものとします。

平成30年6月25日

(市)

伊勢原市田中348番地

伊勢原市長 高山 松太郎



(市民活動団体)

第8期いせはら観光ガイド養成講座実行委員会

実行委員長 三上 利栄

